

令和2年11月1日

大会参加者 様

中京大学剣聖旗実行委員会
委員長 内田 信之
総務委員長 山崎 嘉一

大会実施における新型コロナウイルス感染拡大防止対策要項

1・大会参加の条件

- (1) 令和2年度中京大学剣聖旗剣道大会への参加条件として、大会実施要項5 参加資格 4に記載されている保護者の「承諾」が必要になります。参加申込書に保護者の押印をもって大会参加を承諾し、各種要項に同意したものとします。
- (2) 主催者は大会中に発生した疾病・傷害について、応急処置や医療機関の紹介、手配等を看護師の指示のもと行うこととします。しかし、すべての責任を負うものではありません。
- (3) 大会当日の朝ご提出いただく「入館者リスト」に名前のない方のスカイホール豊田（以下施設）への入館は認められません。
- (4) 感染者が発生した場合は発症の2日前から現時点までの行動歴をあきらかにする必要がありますので、大会 1週間前からの行動歴（いつ、どこで、だれと会った）を記録しておいてください。

2・健康状態の把握

- (1) 出場校の生徒、顧問は日頃から検温、手洗い、うがいをこまめに行い感染防止に努めてください。
- (2) 大会当日の施設内でも手洗い、うがいはこまめに行ってください。
- (3) 大会運営用としての消毒用アルコール類の用意はありますが、参加者が使用する分については各チームで用意してください。
- (4) 大会当日の朝、選手、顧問、役員は必ず検温をし、「入館者リスト」に入館者全員（10名以内）の氏名、体温を記録して受付時に提出してください。37.5℃以上の場合は施設への入場はしないでください。また、発熱がなくても息苦しさ（呼吸困難）や強いだるさ（倦怠感）等がある場合や同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合にも同様とします。

3・会場の管理

- (1) 大会当日の使用場所については、既設空調施設により常時換気を行い、開放が適切と判断される窓や扉などを開放し、空気循環を行います。
- (2) 各チームで指定された観客席に座る場合は必ず1席分の空間をあけて利用してください。
- (3) 試合会場（メインホール）、練習会場（サブホール）への入場は指定された試合の選手のみとします。大会スケジュールを確認してください。

4・入場の制限、施設内での移動

- (1) 施設への入場は、大会役員・学生役員・審判員・入館者リストに記名のある方とします。リストに記名のある付添の方は、当日受付で腕章をお渡ししますので、はっきりと見える位置に表示してください。
2月13日（土）は高校の部に出場する選手のみ、2月14日（日）は中学校の部に出場する選手のみ入場とします。両日とも一般の方の入場はお断りいたします。
- (2) 施設内の人数制限問題を解決するために入館時間を設定しています。施設へは、指定された時間にしか入

館できませんのでご理解ください。

- (3) 大会スケジュールについては別紙を参照してください。
- (4) 館外で入館を待つ場合は他チームと密にならないようフィジカルディスタンスを確保してください。
- (5) 試合終了後は速やかに選手席から離れ、フィジカルディスタンスが確保できる場所へ移動してください。
- (6) 施設の動線は原則一方通行とします。一部、対面通行となる場合もありますが、譲り合って身体接触がないようにフィジカルディスタンスを意識しつつ通行してください。

5・式典、試合について

- (1) 全剣連大会開催ガイドラインに基づき開会式は行いません。両日とも第1試合前に開始式を行いますので第1試合の選手・監督は選手席へ、審判員は審判員控え席へお入りいただきアナウンスをお待ちください。
- (2) 試合出場時は、マスク（市販のもの、または全剣連推奨のもの）着用してください。飛沫飛散防止のためのマウスガード（市販のもの）、ケガ・感染防止の観点からアイガードを装着しても構いません。
- (3) 午後からの女子の部第1試合開始時間は進行状況により遅れることはありますが、スケジュールに記載されているそれぞれの開始予定時間より早く開始することはありません。
- (4) 試合時間は以下の通りとします。ただし、状況により試合時間の変更がありますのでご了承ください。
高等学校の部は4分三本勝負。代表者戦となった場合は3分一本勝負とし、延長戦は3分で区切りながら勝敗が決するまで行います。
中学校の部は3分三本勝負。代表者戦となった場合は2分一本勝負とし、延長戦は2分で区切りながら勝敗が決するまで行います。
- (5) 審判員は新基準での審判要領（マスクの着用、審判旗を持参して使用等）にて審判をお願いいたします。

6・大会前に関係者から感染者等が発生した時の対応について

- (1) 剣道部員、監督・顧問のいずれかの感染が確認された場合は大会への参加はご遠慮ください。
- (2) 剣道部員、監督・顧問が濃厚接触者と認定された場合は、該当者は自宅待機とし、該当者以外の部員、監督・顧問で大会へ参加することは可能です。

7・大会中および大会後に関係者から感染者が発生した時の対応について

大会期間中および大会後2週間以内に新型コロナウイルス感染症の症状を発症し陽性と診断された場合は、速やかにその旨を当該チームの代表者が実行委員長まで報告してください。濃厚接触者については保健所からの連絡があり次第、同様に報告をお願いいたします。

8・大会中止の要件

- (1) 緊急事態宣言が再度発令された場合
- (2) 教育委員会等より全県に休校措置が講じられた場合
- (3) 施設を管理監督する行政各機関からの指示により会場の利用が不可とされた場合
- (4) 大会運営上、支障を来す問題が生じた場合

9・その他

- (1) 施設内では必ずマスクの着用をお願いいたします。
- (2) 試合会場・練習会場以外では必ず履物をはいて移動してください。各会場の入口で履物を脱ぎ、チームごとに袋、カゴなどにまとめて入れ、会場内の履物置き場においてください。
- (3) 各会場入場の際は、各チーム・個人で足裏の消毒をお願いいたします。